

# みんな で 生きる

No.448  
2017 6・7

MLC  
JOCS 医療を通じて、愛を世界へ。  
公益社団法人  
日本キリスト教海外医療協力会  
JAPAN OVERSEAS CHRISTIAN MEDICAL COOPERATIVE SERVICE

1972年4月25日第三種郵便物認可 通巻448号  
2017年6月10日(隔月10日発行)

年次報告書同封のため、今号は簡易版としています。

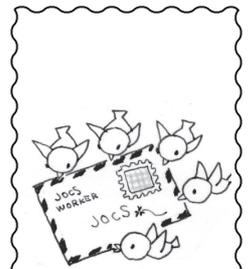


バングラデシュ・ダッカの小学校にて

## 大切なことは何？

会長 畑野研太郎

今年になって大切な人が多く亡くなる体験をした。その中にはJOCSの先輩たちもいる。特に身近な方が亡くなるたびに、自分に与えられた時間についてあらためて考えさせられる。クリスマスチャンは亡くなることを「帰天する」と表現することが多い。ちょうど昨年暮れに、親しくしている牧師さんから色紙をいただいたが、そこには「国籍在天」とあった。私たちはこの地では旅人であり、やがては天に帰る存在であるという教えである。10年後には、私はこの地上でどうしているだろうか、まだ何か御用をさせていただいているだろうか。天の国に帰国しているかもしれない。帰国するということについて考えると、JOCSから派遣されて3期を過ごしたバングラデシュからの帰国が最も大きな経験として思い出される。足かけ10年を過ごした地を離れるにあたって、その期間を振り返ることが必要でもあり、また自然でもあった。しかし、別れの日が近づいてくるにつれて、この派遣期間になした仕事の結果をまとめることの重要性が薄れ、私はこの地の人々を本当に全力で愛することができたのであるだろうかという問いが日々重要になってきたことを思い出す。結局、重要なことはこれに尽きるのではないだろうか。私たちは愛をもって生きていくかどうか。隣人たちを愛しぬいていくだろうか。これ以上に大切なことは、この世の旅路を続けていくうえで何も無いと思うのである。



# ワーカーからの手紙

海外に派遣する保健医療従事者を、JOCsではワーカーと呼んでいます。現在活動している3名のワーカーからの手紙を紹介いたします。

バングラデシュ派遣ワーカー

岩本直美 (看護師)

マイメンシン県にあるラルシユ・コミュニティで暮らしています。ラルシユは知的な障がいのある人たちと、障がいのない人たちが共に暮らすコミュニティです。

この暮らしは私にありのままの自分で良いと教えてくれ、単純素朴な喜びと感謝、そして祈ることへと導いてくれます。ここに暮らす人たちのほとんどがイスラム教徒ですが、クリスチャンとヒンドゥー教徒もいます。朝晩共に祈ります。この暮らしを支えてくれているのは最も弱く壊れやすい障がいのある人たちで、彼らが私たちが共に生きることを可能にしてくれます。分裂と対立が横行する世界で、私たちは異なる者たちが共に生きることを日々選び取り続けてきました。どうぞ私たちのこの平和のミッションをお支えください。

バングラデシュ派遣ワーカー

山内章子 (理学療法士)

いつもお祈りとご支援をありがとうございます。バングラデシュに派遣され、3期目も半ば。今までのこの国の障がいを持つ子どもたち、人々、そしてそのご家族とたくさん出会ってきました。

バングラデシュは発展途上国から中進国へ経済は発展してきていますが、貧しい地域や村にはその恩恵がありません。村には医療が行き届いていませんし、障がいを持つ人々の生活や差別など、取り巻く環境はそう変わっていません。わたしは、貧しい地域の障がいを持つ人々のために働く人々に理学療法士の仕事を教え、また、障がいを持つ女性当事者たちの働きをサポートしています。どちらも小さな働きですが、一緒に、前に一歩踏み出していくことを大切にしていきます。

タンザニア派遣ワーカー

弓野綾 (医師)

タボラ州にある聖アンナ・ミッシェン病院とタボラ大司教区保健事務所で働いています。現在は、病院では救急外来・病棟診療の支援・慢性疾患外来で活動し、保健事務所では大司教区の医療施設の診療を改善するため、統計作成・巡回視察・研修会の開催を支援しています。タボラ州は人の笑顔が素敵な良い所ですが、医療を支える器材や人材が不足しています。患者さんにいつも必要な医療を届けられるわけではない環境は楽ではありませんが、一緒に働くスタッフや関わり続けている患者さんの行動が少しずつ変わってきて、改善の兆しが見られることを幸せに思っています。

今年度も、どうかJOCsの働きをお支えくださいますよう、お願い申し上げます。

## タンザニア・スタディツアーのご案内 2017年9月9日(土)~17日(日) 9日間 (予定)

将来国際保健医療の分野で活躍する人材を育成するためのプログラムとして、タンザニア・タボラ州へのスタディツアーを行います。タボラでは、協力団体であり、弓野ワーカーの派遣先でもあるタボラ大司教区保健事務所およびその傘下の保健医療施設などを訪問します。また、現地の施設で参加型活動も予定しています。ご興味のある方、参加を希望される方は東京事務局 (seminar@jocs.or.jp) までお問い合わせください。



訪問先：タンザニア・タボラ州

定員：12名 (最少催行人員10名)

\*本ツアーは、将来国際保健医療分野で働く人を育成するための企画です。そのため、その対象となる方を優先させていただきます。ご了承ください。

申込期限：2017年7月31日(月)

旅行代金：32万円 (査証申請費用、海外旅行保険保険料を含む)

\*旅行代金に加え、24,000円程度 (燃油特別付加運賃、成田・現地空港税。今後変動する可能性があります) が別途必要になります。

\*ダルエスサラームでの宿泊は2人部屋となります。お1人部屋をご希望の際は、追加料金6,000円で承ります。

参加を迷っている方を対象に参加説明会を実施します！

参加説明会の日程はホームページをご覧ください。

# 2017年度 計画及び収支予算

2017年度も、ワーカー派遣、奨学金事業、協働プロジェクトを3本の柱として活動していきま  
す。変わらぬご支援を、どうぞよ  
ろしくお願い申し上げます。

【海外派遣】タンザニアの弓野綾  
ワーカーは、任期最後の年を迎え  
ています。2018年3月まで活  
動を継続します。バングラデシユ  
の岩本直美ワーカー、山内章子  
ワーカーは引き続き現地での活動  
を継続します。

【奨学金】現在支援中の5カ国40  
名の奨学生のほか、今年度に採用  
する奨学生を支援します。モニタ  
リングのため、事務局スタッフが  
インドネシアとネパールを訪問す  
る予定です。

【協働プロジェクト】カンボジア  
のSALTプロジェクトは3年目  
に入り、18の学校で健康教育を  
実施します。昨年度から始めたケ  
ニアのシロアムプロジェクトは、  
作成した個別支援計画に沿ったカ  
リキュラム開発を継続し、また療  
育の専門家を短期ワーカーと  
して派遣します。すでに終了した

ラデシユの学校保健教育プロジ  
ェクト、タンザニアの診療統計分  
析能力強化プロジェクトの事後評  
価も行います。

【国内活動】使用済み切手運動の  
ほか、JOC Sの活動に理解と賛  
同を得るためのイベントを開催  
します。会員を増やすため、お友  
だち紹介キャンペーンも実施し  
ます。

【災害救援復興】福島県内児童養  
護施設への支援、岩手県釜石市で  
の被災者支援活動を継続します。

【収入について】前年度決算額よ  
りも約6%の増加を目指します。  
職員による教会や団体への訪問を  
通して新規支援者を募集します。

【全体】収入増加の予算を達成で  
きてもおお、今年度の一般正味財  
産の経常増減額は、1457万円  
の赤字となります。この赤字は今  
までご遺贈などでいただいた寄  
付を積み立てた海外保健医療協力  
資金積立金などを取り崩すこと  
によって埋められます。

ホームページ上で詳しい予算書  
をご覧ください。ご希望の方  
には2016年度事業報告・会計  
報告書、2017年度事業計画・  
予算書をお送りいたします。事務  
局までお申し付けください。

## 【一般正味財産増減の部】

1 経常収益	計1億4,739万円
①受取会費	2,800万円
②事業収益 (使用済み切手収益を含む)	2,257万円
③受取寄付金 (指定寄付金振替額を含む)	9,555万円
④特定資産運用益	104万円
⑤雑収益	23万円
2 経常費用	計1億6,196万円
①事業費	1億3,757万円
・海外派遣	2,439万円
・奨学金	717万円
・協働プロジェクト	375万円
・国内活動費	1,673万円
・災害救援復興費 (東日本大震災被災者支援・その他)	199万円
・人件費	5,617万円
・事務所費	647万円
・事務用品費	221万円

・通信費	170万円
・その他(会議費・交通費・退職給付費用等)	1,699万円
②管理費	2,439万円
・人件費	1,404万円
・事務所費	71万円
・会議費(理事会・総会)	196万円
・支払手数料	441万円
・その他(事務用品費・通信費・交通費等)	327万円
当期経常増減額	△1,457万円

(△はマイナスを表す)

受取会費・受取一般寄付金の按分について  
受取会費は5:5に按分し、5割を公益目的事業、5割を法人運営の管理費として使います。受取寄付金のうち受取一般寄付金は、9:1に按分し、9割を公益目的事業、1割を法人運営の管理費として使います。

## 東京事務局 新任スタッフ紹介



河井 敦

学生時代から英語が好き  
で、留学や国際交流活動をし  
たり翻訳を勉強して関連した  
仕事に就いたりしてしまし  
た。政治や社会問題等には無  
関心でしたが2011年の福  
島原発事故で考えが一変し、  
震災後まもなく、福島の高線  
量地域に住む子どもの健康を  
支援するNPOで働きはじめ  
ました。その後JOC Sを知  
り、最も弱い立場に置かれた  
方々の命を守るだけでなく、  
苦悩も喜びも分かち合うこと  
を最終目標とする、他のどの  
団体とも違う方針に感銘を受  
けました。私の力は微力です  
が、みんなで  
平和に生きら  
れる世界をつ  
くる一端を担  
えればと思っ  
ています。





●仙台JOCS 切手整理作業

「きつてきつて」を毎月第2土曜日14〜16時に仙台市市民活動サポートセンターで行っています。4月は6名の参加でした。どなたでもお気軽にご参加ください。

●足利JOCS 6月11日(日)

に定例会を行います。今年もクリスマスのコンサートを企画していますので、誰でも楽しく参加いただけるよう話し合っています。

●町田JOCS 3月と4月の

第3水曜日の例会で、切手整理を行いました。体調を崩されている方が多く、参加人数が少ない中での「切手ちよきちよき」となりました。毎月第3水曜日にメディカルホームグラニー玉川学園・町田にて、楽しくおしゃべりをしながら切手の整理作業を行っています。近隣にお住まいの方で、参加できるメンバーを募集しています。

●京都JOCS 4月8日(土)

に予定していた今年のチャリティウォークソンは、悪天候のため中止となりました。ちょうど桜が満開だったので残念でしたが、また来年開催の予定です。7月28日(金)に第39回京都JOCSチャリティコンサートを開催します。今年は大リンバとピアノのデュオリサイタルです。どうぞお楽しみに。

●大阪JOCS 大阪JOCS

カフェを7月7日(金)19時から開店します。今回のゲストスピーカーは船戸正久さん(医師)です。NICU(新生児集中治療室)での低体重出生や障がいのある赤ちゃんとの関わり、お母さんや家族へのケア、医療的ケアが必要な子どもたちとの長年の交流についてお話しください。事前予約制です。ご希望の方は関西事務局まで。(参加費:500円、カレーライス、ドリンク付き)

●芦屋JOCS 6月18日(日)

14時より、芦屋聖マルコ教会(芦屋市公光町2-10)にて芦屋JOCSのつどいを開催します。今回は、畑野研太郎JOCS

S会長が、「あらためて、なぜ

国際協力?」というテーマで話をします。また安田美穂子さん(ヴォーカリスト)のコンサートも予定しています。どうぞお誘いあわせの上ご来場ください。

●神戸JOCS 11月18日(土)

に神戸JOCSのつどいを開催します。講師は船戸正久さん(医師)です。6月17日(土)に行う次回委員会で、開催場所、つどいの内容、チラシについて話し合います。

●四国高知JOCS 11月26日

(日)、植松功さん(JOCS理事)を講師に、高知教会でつどいを開催します。植松氏はバン格拉デシユ派遣ワーカーの担当理事で、テゼのつどいを主催されていますので、多岐にわたるお話をお聞きできると楽しみにしています。6月3日(土)の例会でチラシやつどいの内容について話し合いました。

お問い合わせはJOCSの各事務局へ  
東京事務局へ: 仙台・足利・町田JOCS  
関西事務局へ: 京都・大阪・芦屋・神戸・  
四国高知JOCS

(電話番号は下欄をご覧ください)

事務局便り

使用済み切手の仕事に長年携わってきました。昔から、仕事の人を育てると申します。私もJOCSには、ある一面ですが育ててもらったと感謝しております。ボランティアさんや、切手換金をしてくださるコレクターさんとの交流、事務局での数々の仕事の経験から得られたことは本当に貴重なものでした。ボランティアさんのやる気のもととは何か?コレクターさんの喜びとは?そして「組織」というものの、ある姿を知ることができたことは、これから大きな財産になると思います。(山中)

公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会  
http://www.jocs.or.jp

- 東京事務局 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-51  
電話:03-3208-2416 FAX:03-3232-6922
  - 関西事務局 〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30  
電話:06-6359-7277 FAX:06-6359-7278
  - e-mail info@jocs.or.jp
  - 編集発行人 畑野研太郎(JOCS会長)
  - 編集長 森田隆(JOCS事務局長)
  - イラスト 石橋えり子 柏木牧子
  - 誌代 1部300円(送料込)
- JOCS会員は会費の中に本誌購読料が含まれています。また年間1万円以上(購読料含む)の寄付をしてくださった方にお送りします。
- 郵便振替口座番号 00170-1-20920